

消防団たずね歩き

「櫛谷支団の歴史」

昭和 22 年 3 月 1 日、明石郡櫛谷村が神戸市に合併し垂水区に編入され、同年 10 月神戸市消防団条例の公布を受け、同年 11 月櫛谷消防団が発足しました。

この地域は、当時純農家が多く副業に林産業を営み、超貴重品の松茸を多量に産出していました。また、国の重要文化財である「如意寺の三重塔」、「端谷城（衣笠城）」の歴史や「光源氏の岡の屋形への逢瀬」など美しい伝説の多い平和な山村でした。現在では、都市近郊の農業地帯として、従来からの水田稲作と戦後盛んになった野菜作りが行われるなか、西神ニュータウンの開発にみられるように、周辺地域での開発が進み人も町も新旧混在し、これからも都市施設が整備され発展していきます。

「消防操法大会」

昭和 31 年西神地区消防団第 1 回ポンプ操法大会に出場し優勝しました。

平成 4 年第 14 回兵庫県消防操法大会小型ポンプの部に出場し 2 位入賞しました。

平成 8 年西消防団ポンプ操法大会第 40 回記念大会に出場し優勝しました。

「最後に」

今年の 11 月に第 57 回西消防団ポンプ操法競技会が開催されます。コロナ禍により延期が続き、平成 30 年度以来の開催となります。各支団から選抜された 1 チームが水源から 3 台のポンプを中継して的に放水するもので、その安全性、確実性、迅速性を競います。



櫛谷支団本部 分団長 榎原 耕一郎

本田 匡